

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-121755(P2003-121755A)  
 【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)  
 【出願番号】特願2001-321136(P2001-321136)  
 【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 21/22

A 6 1 B 19/00

G 0 2 B 21/36

【F I】

G 0 2 B 21/22

A 6 1 B 19/00 5 0 6

G 0 2 B 21/36

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月23日(2004.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

術部を拡大観察するための観察光学系を有する鏡体と、前記鏡体の観察視野内に少なくとも一つの画像を表示する視野内表示手段と、前記鏡体の観察画像を撮影する撮影手段と、を備えた手術用顕微鏡において、

前記撮影手段によって撮影された画像及び前記視野内表示手段に表示された画像を録画する一つ又は複数の録画手段と、

前記視野内表示手段の観察視野内における表示位置情報を、前記録画手段の録画状態に併せて時系列で記録するデータ記録手段と、

少なくとも前記データ記録手段の記録データを基に前記録画手段に録画された複数の画像を時系列的に一致させて再生表示する再生制御手段と、を備えることを特徴とする手術用顕微鏡システム。

【請求項2】

前記視野内表示手段は、前記観察光学系の視野内の一部に画像を挿入する視野内画像表示手段、前記観察光学系とは異なる第2の画像観察手段、或いは、前記観察光学系に画像を重畳表示する画像重畳手段、の少なくとも一つであることを特徴とする請求項1記載の手術用顕微鏡システム。

【請求項3】

前記データ記録手段は、接続される装置の設定状態を前記録画手段の録画状態に併せて時系列で記録する手段であることを特徴とする請求項1または請求項2記載の手術用顕微鏡システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

**【発明の属する技術分野】**

本発明は、微細部位の手術等に使用される手術用顕微鏡システムに関し、具体的には手術用顕微鏡で得られる画像の記録及び、表示を改良した手術用顕微鏡システムに関する。

**【手続補正3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0009

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0009】**

また、請求項3記載の発明による手術用顕微鏡システムは、請求項1または請求項2記載の発明において、前記データ記録手段は、接続される装置の設定状態を前記録画手段の録画状態に併せて時系列で記録する手段であることを特徴とする。